

# 2020石垣島・八重山大会 競技規則、注意事項

2020/1/29 現在

## ★昨年までとの変更点、及び追記事項

- 変更** 1、スイムにおいて、救助された場合スキップはできません。 \* 競技規則4  
(受付時、及び1周目終了時の申告でのみ、体調に問題ないと判断されればスキップが認められます。)
- 変更** 2、ウェットスーツは着用義務です。膝上までのものでも可とします(推奨はしません)。 \* 競技規則5
- 追記** 3、ディスクブレーキ装着車での参加は可能です。 \* 競技規則9
- 追記** 4、ディスクホイールの装着は可能ですが、来年以降禁止を検討しています。 \* 競技規則9  
石垣島特有の強風が吹く可能性が高いため、ディスクホイールの使用は十分ご考慮ください。
- 追記** 5、ランは、Aタイプ3周、Bタイプ2周です。それぞれ最終周は途中でフィニッシュに向かいます。  
(Aタイプの周回数は昨年と変わりませんが、「2+4/5周」の表現を「3周」としています) \* 競技規則10
- 変更** 6、使用済み紙コップなどのごみを、規定範囲外で投棄することはペナルティの対象です。 \* 競技規則11
- 変更** 7、メンバー変更。\* 競技規則17参照

ルールの変更、追加などは、大会10日ほど前に発送予定の最終要項、競技説明会で発表します。

## 【1】競技規則

### 1、競技規則総則

1) 日本トライアスロン連合(JTU)競技規則に準じ、一部ローカルルールを適用します。

### 2、競技の中止・棄権

- 1) 大会スタッフは、選手が過度の疲労、競技力不足又は事故等により競技の続行に支障があると判断したときは、選手に対し、競技の中止を指示することができます。
- 2) 大会スタッフに競技の中止を指示されたときは、これに従わなければなりません。
- 3) 選手は、競技続行に不安があると感じたときは、自らの意思で競技を棄権するものとします。
- 4) 競技を棄権したときは、大会本部・審判にその旨を必ず申告して、指示に従ってください。
- 5) 大会スタッフは、体調不良、飲酒状態と判断した場合は、出場を取りやめさせる権限を持ちます。  
(初心者に限らず、死亡事故のリスクが、「確実に」高まります。特に前日の過ごし方にご配慮ください。)

### 3、招集、制限時間

- 1) 招集時刻に間に合うようにスタート地点にご集合下さい。いない場合失格となる場合があります。
- 2) 以下の通り、制限時間を設けます。(スイムスタートからの積算時間)

Aタイプ(スタンダード)

Bタイプ(ショート):新設

	Aタイプ(51.5km)		Bタイプ(37.25km)	
	距離	制限時間(累計)	距離	制限時間(累計)
スイム	1.5km	60分	0.75km	30分
バイク	40km	3時間15分	30km	2時間15分
ラン	10km	4時間45分	6.5km	3時間15分

### 4、スキップ制度

- 1) スイムにおいてのみ、以下の条件の下、バイクから再開を認めます。  
・受付時、または1周目終了時にスキップを申告の上、競技する上で体調に問題がないと審判より判断された場合。  
・2周目に進んだあとでのスキップは認められません。  
・救助された場合、スキップはできません。 **昨年とは変更になっています。**
- 2) リレーについては、P16「競技規則16、メンバー変更及びリレーのリタイア」参照。
- 3) スキップした選手は、スイムスタート付近のスキップ待機所で待機。審判の指示に従ってください。
- 4) スキップにてレースをした選手の記録は、参考記録となります。

### 5、ウェア

#### <1>レースウェア

- 1) バイク、ランにおいて、上半身裸で競技すると失格となります。
- 2) 前にファスナーがないウェアを推奨しますが、ファスナーがついている場合は、必ずファスナーを上端まであげて競技してください。開けている場合は、注意の上、ペナルティの対象になる場合があります。

#### <2>ウェットスーツ

##### 1) ウェットスーツ着用義務です。(試泳時含む)

**昨年「膝下まで覆うもの」とした条件は削除します。**

- ウェットスーツは、トライアスロン用のネオプレン(合成ゴム)で胴体が覆われているものに限りです。  
・ラッシュガード、スイムスキンなどでは出場できません。  
・体形に合わないウェットスーツは事故の要因になる場合があります。ご注意ください。

## 6、トランジションエリア

### <1>準備、撤収



- 1)トランジションエリアには、競技中及び競技前後に関わらず、選手及び許可された大会スタッフ以外は入れません。ただし、やむを得ない理由がある場合に限り、審判の許可を得て入ることができます。
- 2)棒状のバイクラックに添付してあるナンバーシール側にハンドルバーがあるように向けてサドルをかけてください。
- 3)競技に必要な物以外を置くことはできません。  
(自車を示す目印、クーラーボックスなど含む)
- 4)指定場所に、他選手の邪魔にならないよう最小限の広さに収めてください。(ハンドル幅1台分が目安)
- 5)指定時間以内にトランジションのセットをしてください。
- 6)トランジションエリアを囲むフェンスにバイクを立てかけないでください。
- 7)トランジションエリアを囲むフェンス外から荷物を取り出すことはできません。
- 8)セッティングが守られていないバイクは、選手の了承を得ずに大会スタッフが直します。
- 9)競技終了後のバイク等は、公式アナウンス後、指定出入口からのみ順次撤収ができます。  
競技中にバイクを取り出せるアナウンスがあった場合でも、状況により撤収できない場合もあります。
- 10)トランジションエリアに入る場合は、必ずレースナンバーを係員に示してください。
- 11)14時まで撤収してください。14時以降は、自転車等は管理区域外に移動します。

### <2>競技

- 1)トランジションエリアはペダルに片足を乗せての走行も含め乗車禁止です。
- 2)ヘルメットのストラップは、ラックからバイクを外す前にしっかりと締めてください。  
バイクフィニッシュ後は、バイクを掛けてからストラップを外してください。
- 3)乗車は、選手の片足が乗車ラインを越えた後に、完全に片足が地面についてから乗車してください。(右上図)  
また、乗車ラインを通過してからも押すことはでき、ライン通過直後に乗車しなくてもかまいません。
- 4)降車は、降車ライン手前の地面に、片足が完全にについてから降車してください。(右下図)
- 5)レースナンバーの向きを確認して、次の種目に移ってください。  
(バイクは腰側(後から見える位置)、ランは腹側(前から見える位置))
- 6)受付時にお渡しするバッグに、スイム終了後の荷物をすべて入れてください。  
フィニッシュ付近で返却します。バッグに入れていない荷物は、すべて落としものとして扱います。

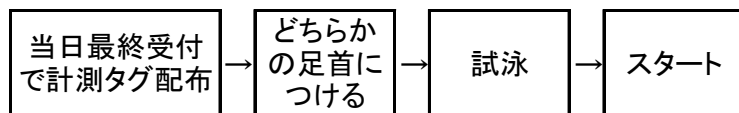
#### <乗車>



#### <降車>



## 7、入水チェック(計測タグ配布)



## 8、スイム

### <1>用具

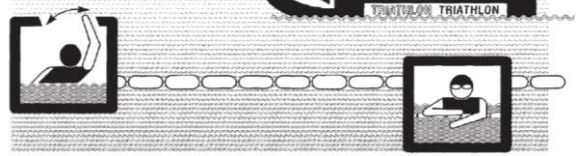
- 1)受付でお渡しする**指定のスイムキャップを着用**してください。

### <2>競技

- 1)スタート前に、スタート地点、折り返し点、周回方法を必ずご確認ください。  
1周750mで一度上陸するコースをAタイプは1周、Bタイプは2周します。
- 2)当日の試泳は、義務とします。スタッフの指示に従ってください。(前日は任意。注意事項8、試泳参照)
- 3)ブイの外を回ってください。
- 4)スタート方法はビーチスタート(海岸線からのスタート)です。
- 5)スタートは、Aタイプはリレーも含め申告タイム順を基本としています。  
Bタイプは、リレーも含め、すべて最終ウェーブでのスタートとなります。
- 6)ブイ等につかまってもかまいません。ただし、それを伝って進むことは禁止です。
- 7)スイム競技を途中棄権する場合、片手をあげてスタッフに「リタイア」の意思表示をしてください。(下図)  
一度救助された選手は、原則として競技を再開することはできません。
- 8)泳ぎがおかしい(方向が定まらないなど)選手がいた場合、レスキューを呼んでください。  
また、緊急時にご自身に余裕があれば、安全を確保した上で救助をお手伝いいただければ幸いです。
- 9)スイム終了後の荷物は、指定の袋にいれてください。(5、トランジション<2>参照)

<3>レスチューブの運用ルール

- 1)石垣島トライアスロン大会では、「レスチューブ」の装着を認めます。
- 2)使用した(膨張させた)場合も、競技は継続できますが、参考記録となります。(受け取りについては「注意事項14」参照)



<4>その他

- 1)めがね置き場はありません。各自のトランジションエリアに置いてください。  
視力が弱い方は、度付ゴーグルをご用意ください。
- 2)スイムフィニッシュ後、シャワーはありませんが、スポンジで水をかけることができます。

9、バイク

<1>用具等

①ヘルメット

- 1)自転車競技用ヘルメットを着用してください。
- 2)レース中、コース試走、トレーニングなどでのバイク乗車時には、常にヘルメットを着用しなければなりません。



X: 工事用  
X: ストラップがゴム製

②バイク

- 1)ロードバイクを推奨します。

◎ロードバイク	Xミニベロ
○TTバイク	Xシティサイクル(俗に言うママチャリ)
Xマウンテンバイク	X電動アシスト付き
Xクロスバイク	

・いずれにも当てはまらない場合は事前にお問い合わせください。  
・パラトライアスロンの方は別途対応します。

- 2)スタンド、前照灯、リフレクター、泥除けなど競技に無関係なものは、取り外してください。

③装備品等 (◎必須 ○あるとよい X携行禁止)

◎パンク修理セット	Xペットボトル
◎バイク用ボトル	Xヘッドホン、イヤホン等
○サイクルコンピューター	Xガラス製品
	X通信機器
	Xカメラ



- 1)ディスクホイールは使用できませんが、石垣島特有の強風が吹く可能性が高いため推奨しません。
- 2)ディスクブレーキ装着車で参加は可能です。
- 3)パンク修理セットは必ず携行してください。また、パンク修理はひとりでできるように、練習しておくことが必須です。(人の手を借りての修理は失格です。)
- 4)音楽プレーヤーなど、ヘッドホンをつけての走行、及び機器の携行は禁止します。
- 5)通信機器がついているサイクルコンピューターは、第3者と通信をしないことを前提として装着を認めます。ただし、バイクに固定して外さないこと。

<2>競技

1)完全貸し切りのコースではありません。一般の方に充分ご注意ください。

また、交通規制がかかりますが、交通状況、安全確保等のため、選手に停止していただく場合もありますのでご了承ください。(時計は止まりません)

- 2)コースはAタイプ40kmn、Bタイプ30kmのそれぞれ1周のコースです。  
アップダウンのある、鋭角コーナー等のあるテクニカルなコースですので、十分に練習を積んでご参加ください。
- 3)逆走は禁止です。
- 4)左側走行で競技してください。追い越しは右側からを厳守してください。
- 5)ホイールストップ(車輪交換場所)は設けません。自身でパンク修理等してください。

## 6) ドラフティング、ブロッキングは禁止です。



ドラフトゾーン: 10m

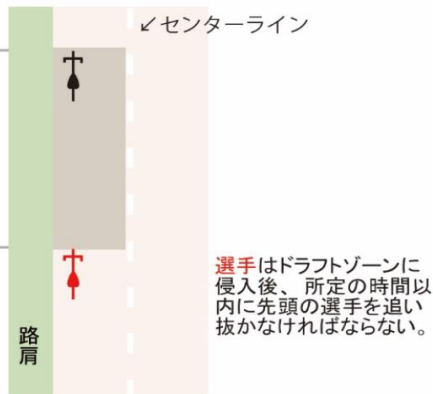
- ・追い越しは20秒以内
- ・ドラフトゾーンに入ることができるのは、トランジションエリア  
前後100m、急なターン地点など
- ・ブロッキング(後続を追い抜けなくする状態)行為は禁止
- ・オートバイは12m、車両は35mがドラフトゾーンです。
- ・追い越された選手は、20秒以内にドラフトゾーンから後退してください。

### ドラフティング

#### ドラフトゾーン

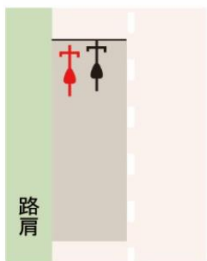
横: コースの幅  
縦: 10m 又 12m

スタンダード以下: 10m  
追い抜き: 20秒以内



### ブロッキング

選手は別の選手の前輪が先に  
出た時、**追い抜かれた**と見な  
される。一度追い抜かされたら、  
前の選手のドラフトゾーンの外  
に**5秒以内**に出なければならない。



選手はブロッキング状態  
をつくらぬようコースの  
左端を走行し続けなければ  
ならない。

## 7) 危険箇所

### ●スタート直後サザンゲートブリッジ下右折



### ●31km前後(Bタイプ 約21km)の海岸線に 出る際、下って直角に 左折

充分な減速を



## 10、ラン

### <1> 用具

1) 音楽プレーヤーなど、ヘッドホンをつけての走行、及び機器の携行は禁止します。

### <2> 競技

- 1) 1周約3.5kmのコースをAタイプ3周、Bタイプ2周です。それぞれ最終周は途中でフィニッシュに向かいます。
- 2) 周回数は各自で確認してください。スタッフが周回数を教えることはありません。
- 3) 左側通行です。**追越しは前走者の右側から**。前走者に一声掛けると安心です。
- 4) 応援者による伴走はできません。



## 11、エイドステーション(給水所)

- 1) スイムスタート前、周回、フィニッシュ。ランコース途中、フィニッシュ付近に設置します。
- 2) バイクコースにはありません。ダブルボトル推奨。コース上の自動販売機を利用してもかまいません。
- 3) ランコース最初のエイドステーションまで約750m。バイク終了時、ボトルにある水分補給をしてください。
- 4) スタッフは止まった状態で紙コップを渡します。競技者が減速して注意して受け取ってください。
- 5) **使用済み紙コップなどのごみを、規定範囲外で投棄することはペナルティの対象です。**コース上に回収箱を用意しますが、入れ損なっても、規定範囲内であればペナルティの対象にはなりません。

## 12、フィニッシュ

### <1> 服装等

1) フィニッシュ直前では、帽子、サングラスを外すことを奨励します。

### <2> 同伴フィニッシュ

1) フィニッシュ手前の所定の場所から、同伴でのフィニッシュを認めます。ただし、状況により認められない場合もありますので、審判の指示に従ってください。また、他の選手や、メディアの邪魔にならないようご協力をお願いいたします。

### 13、デュアスロン変更時の注意

**エイジグループはランニングシューズを2足ご用意ください。**

#### 1) スイム競技のみの中止の場合、トライアスロンからデュアスロンに変更します。

- ・コースは【2】コースマップをご確認ください。
- ・デュアスロン変更時、T2にランシューズはとりに行けません。T1用のシューズもご用意ください。
- ・リレーは、第1ラン・バイク・第2ランとなり、スイム担当が第1ランを担当します。
- ・**第1ランに備えて、スイム担当者はランニングできるシューズ、服装をご用意ください。**
- ・メンバー変更、及び出走順変更は、前日受付時までの公式手続きでの変更をした方のみ認めます。(メンバー変更は、競技規則17 参照)

### 14、計測区間

- ・スイム… スイムスタート～スイムフィニッシュ
- ・バイク… スイムフィニッシュ～トランジション1～バイクフィニッシュ
- ・ラン… バイクフィニッシュ～トランジション2～ランフィニッシュ

### 15、リレーの中継の仕方

#### 1) リレーの中継方法

- ①中継は、計測タグ(アンクルバンド)をタスキ代わりとして使用します。
- ②中継ゾーンにて計測タグを渡し、どちらかの足首に装着してください。
  - ・スイム担当者 …退水→リレーゾーンへ移動→バイク担当者に計測タグを渡す。
  - ・バイク担当者 …スイム担当者からリレーゾーン内で計測タグを受け取り装着後、バイクを取り出す。  
※事前にヘルメットをかぶり、ストラップをとめて待機してください。  
バイク終了→バイクを指定のバイクラックに正しく掛ける→リレーゾーンへ。
  - ・ラン担当者 …バイク担当者からリレーゾーン内で計測タグを受け取り装着後、スタート。

### 16、ペナルティ

- 1) 違反や危険が予想される行為があった場合は、注意を受けることがあります。
- 2) 注意に従わないと警告が出ます。また、停止等のペナルティを果たします。  
但し、ペナルティが果たされる前に必ずしも注意や警告が発せられるとは限りません。
- 3) スイムからバイク・ランにおいて、違反があったにも関わらず、違反場所での停止等のペナルティが果たされなかった場合、あらかじめコース上に設置されたペナルティボックスに、その選手のレースナンバーを掲示します。対象者は自らボックスに入り、審判の指示に従ってください。  
(場所はコース図参照)

**4) 大会当日の最終受付締切時刻に遅れた場合、2分のペナルティとなります。**

#### 5) 失格及び出場不可に該当する主なもの

- ・登録本人以外(替え玉)出場
- ・ヘルメット未着用あるいは不適合なヘルメットを着用してバイクに乗車した場合
- ・パンク修理において、人の助力を得ること。(審判の助力は除く)
- ・審判、スタッフ、観衆への暴言
- ・ペナルティボックスにレースナンバーが掲示されているのに、ボックスに入らなかった場合
- ・意図的に不正な手段によって、他の競技者よりも明らかなアドバンテージを得た場合

### 17、メンバー変更(公式代走)及びリレーのリタイア

- 1) 個人もしくは、リレーのメンバーがレースに参加できなくなった場合、その出場権を他の人に譲ることを公式に認めるものです。この手続きを経ずに、勝手に代走(替え玉出場)することは、重大なルール違反です。万一の場合に対応ができず、保険適用もできませんので、絶対におやめください。発覚すれば、通常、重い制裁が科されます。(本大会失格に加えて、以後の大会の出場停止処分(チームの場合チームが対象)など)

#### 2) メンバー変更、及び部門変更の可否

##### ●変更可

- ・同部門で選手を変更する。(ウェーブ、スイムキャップ変更無し。レースナンバー変更無し。)
- ・AタイプからBタイプに部門変更の上、選手も変更する。  
(差額返金無し。ウェーブ、スイムキャップ変更。レースナンバー変更無し。)
- ・同一選手が、AタイプからBタイプに部門を変更する。(差額返金無し。ウェーブ、スイムキャップ変更。)
- ・リレーの同一チームが、AタイプからBタイプに部門を変更する。(差額返金無し。ウェーブ、スイムキャップ変更。)
- ・リレーのメンバー変更
- ・リレーの走順変更

※部門変更の場合、レースナンバーになんらかの印を入れますので、受付時にご持参ください。

##### ●変更不可

- ・BタイプからAタイプに変更(リレーも同様)

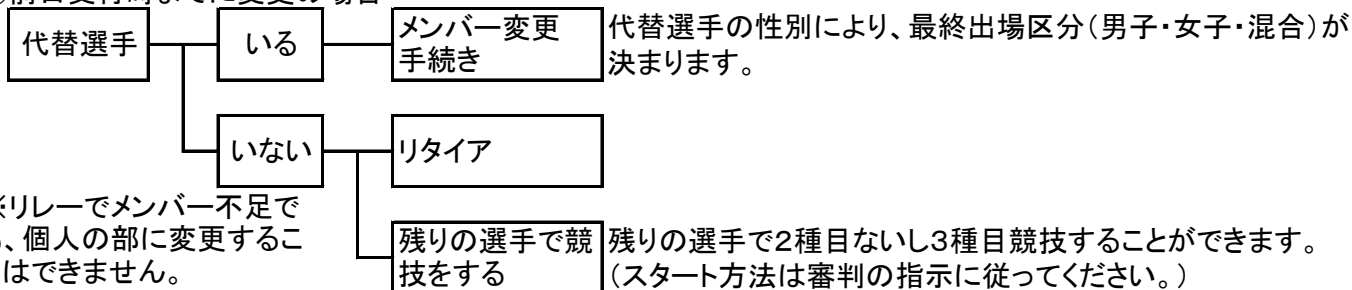
◆メンバー変更条件及び手続き

- ①2020年度JTU会員登録者(エイジAタイプのみ。Bタイプ及びリレーは推奨。)(2020年度会員証を提示のこと)
- ②手数料1000円(申込締切後のメンバー変更(同一チーム内の出走順の変更含む))
- ③代走許可申請書提出(要項最終発送時同送)

以上を用意の上、最終要項とともに送りする「健康に関する申告書」「誓約書」「ローカルルール理解クイズ」とともに受付にて手続きをしてください。事前に決定の場合は、大会事務局までご連絡ください。(大会5日前まではメールで、それ以降は前日受付時にお申し出ください。)

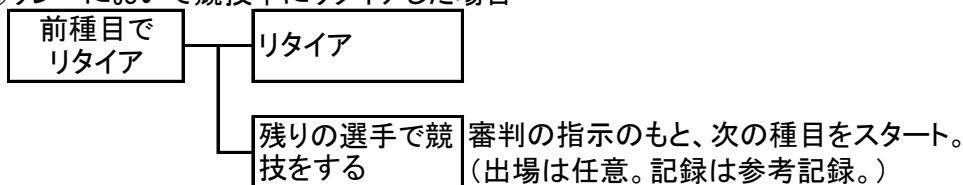
2)リレーでメンバーが不足もしくはリタイアした場合

①前日受付時までに変更の場合



※リレーでメンバー不足でも、個人の部に変更することはできません。

②リレーにおいて競技中にリタイアした場合



※中継方法についてはスタッフの指示にしたがってください。

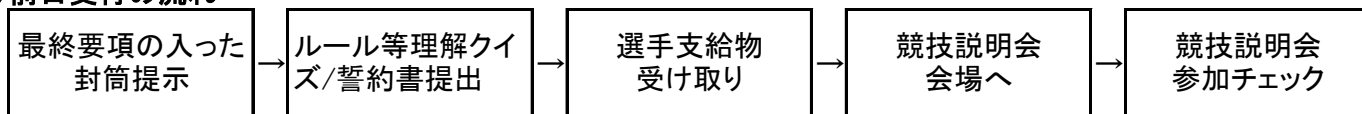
3)記録の扱い

- ・個人、リレーの公式代走 ..... 公式記録
- ・リレーで3人未満での参加 ..... 参考記録
- ・リレーで競技中にリタイア ..... 参考記録(全区間参考記録)

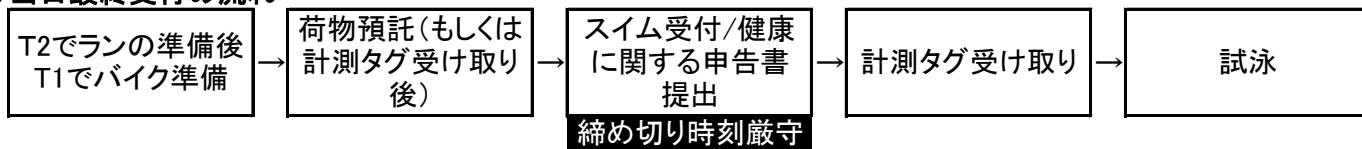
【2】注意事項

1.受付

1)前日受付の流れ



2)当日最終受付の流れ



3)リレーの当日最終受付

代表者のみ受付にお越しください。ただし、選手全員の「健康に関する申告書及びアンケート/誓約書」は全員分をご提出ください。

4) 支給物 (予定)

◆事前送付物(数字は部数)

内容	エイジ	リレー
・最終要項	1	3
・ルール等理解クイズ	1	1
・健康に関する申告書 /誓約書※1	1	3
・各種ご案内	1	3

※1:あなたの安全を守るために必要なアンケート  
ですので正確にお答えください。

※2:ボディナンバーシールは、1選手あたり2枚です。

※3:エントリー時、ナンバーベルトを申し込んだ方は  
受付時にお渡します。

◆受付時支給物

	エイジ	リレー
・スイムキャップ	1	1
・レースナンバー	1	2
・バイクシール	1	1
・ヘルメットシール	1	1
・ボディナンバーシール※2	1	3
・荷物預託袋(スイムグッズ用)	1	1
・各種記念品	1	3
・大会プログラム	1	3
・ナンバーベルト※3	(購入者)	

★計測タグは、当日最終受付時にお渡します。

◆スイムキャップカラー (決まり次第発表)

第1ウェーブ	NO.	~	
第2ウェーブ	NO.	~	
第3ウェーブ	NO.	~	
第4ウェーブ	NO.	~	
	NO.	~	

第5ウェーブ	NO.	~	
第6ウェーブ	NO.	~	
第7ウェーブ	NO.	~	
第8ウェーブ	NO.	~	
	NO.	~	

※パトラリアスリート等:当該ウェーブと別色のキャップをお渡します。

2、レースナンバー

1) ボディナンバー



◆ボディナンバーシールを採用します。

- ・貼り付け位置 左右の上腕部
- ・貼り付け方法注意 一緒に渡す説明書をよく読んでください。

①水で濡らしてからはがします。

②完全に乾いてからはがしてください。

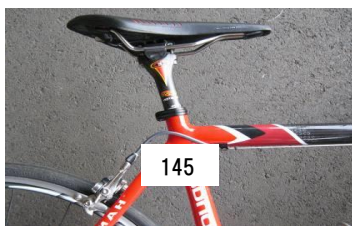
- ・破損した場合等は、当日受付でマジックで記入します。

・会場に来る前に貼りつけることを強く推奨します。

2) 各種レースナンバーの付け方について

◆バイクシール

(右側面)



◆ヘルメットシール

(正面)



◆レースナンバー

バイク

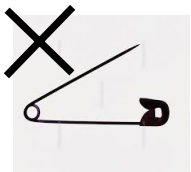
ラン



「バイクの時は後ろ」  
「ランの時は前」から  
見えるようにしてくだ  
さい。

◆レースナンバー取り付け方法

↓ナンバーベルトをご用意ください。(前・当日販売あり)



・安全ピンは禁止

(一般利用する海岸でもあり、素足で走る海岸、トランジションでの怪我防止のため)



※緊急時に活用するための記入欄です。	
以下に記入ください。	
氏名 (姓・名)	
緊急連絡先 電話番号	
緊急連絡先 電話番号 (携帯)	
緊急連絡先 住所	
保険証番号	
競技種別、フルマラソン	
その他必要な事項に記入してください。	

裏面に、緊急情報を記入

もしものときにいち早く情報が  
入手できるよう、ご協力ください。  
\* 個人情報です。紛失、脱落に  
ご注意ください。

3) レースナンバーのルール等について

- ①トランジションエリア内で、ウェアとレースナンバーを整えてからスタートしてください。
- ②ウェアやレースナンバーがめくれあがったまま競技することは禁止です。競技をとめて直させることもあります。
- ③トランジションエリアの出入りにも必要です。バイク撤収時にはレースナンバーと持ち出す荷物の照合を行いますので、必ずご持参ください。(競技規則6、トランジションエリア)参照)

### 3、タトゥー

- 1) 原則として参加に問題はありませんが、他者に威圧感を与える、レースナンバーがわかりにくなどの場合は、テープで覆うなどの措置をお願いする場合があります。

### 4、遅刻

- 1) 当日、5:30～7:10 最終受付に 正当な理由なく **遅刻した場合、タイムペナルティー** が与えられます。スイム終了後、ペナルティーボックスに入ってください。(2分)

### 5、リタイア

- 1) 安全確保が最優先です。万一レース前やレース中に体調がすぐれない場合は「**勇気あるリタイア**」が正しい選択です。
- 2) リタイアする場合は、必ず近くのスタッフに「リタイア」する旨と「レースナンバー」を報告し、計測タグを本部までお持ちください。

### 6、結果発表・完走証

- 1) 速報は大会本部付近の掲示板にて発表します。
- 2) 公式結果は、後日大会ホームページに掲載します。
- 3) 完走証は、大会終了後ホームページから無料でダウンロードできます。(当日配布はありません。)

### 7、試走

- 1) バイク、ランについて、大会当日以外でも試走はできますが、各自の責任において試走してください。大会当日以外の試走での怪我等については、保険の適用はできませんのでご了承ください。
- 2) バイク乗車時は、必ずヘルメットをかぶってください。

### 8、試泳

#### ①前日試泳(任意)

- 1) 受付前でも試泳はできますが、必ずスイム会場での試泳受付を行ってください。
- 2) スイムキャップは、各自持参してください。前日の大会受付後であれば、支給されたキャップを使用してください。(持参のスイムキャップは目立つ色を推奨します)
- 3) ウェットスーツ着用義務とします。
- 4) 気象状況などにより、中止する場合があります。(スイム会場及びホームページにて告知)
- 5) 人数が集中した場合は、安全のため制限時間を設け、交代制にする場合があります。
- 6) スイム全コースは泳げません。(一部エリアに限定)

#### ②当日試泳(義務)

- 1) スタート前指定時間の試泳を義務とします。  
心臓に急激な負担をかけないためにもしっかりとウォーミングアップをしてください。
- 2) ウェットスーツ着用義務とします。

### 9、競技内容の変更・中止、及び中断

- 1) 気象状況などにより、大会開催が危険と判断される場合は、大会当日6:00に、スイム会場にてコース・距離などの変更、または中止を発表します。(状況により遅れる場合があります。)
- 2) 雷などで危険な状況が発生した場合は、競技を中断する場合があります。その後、再スタートや中止の判断を決定します。
- 3) 天候の急変などで、レース中に中断や中止の判断をした場合は、審判団、主催者で協議の上、表彰などの対応を決定いたします。
- 4) 中止になった場合でも、参加費・ナンバーベルト申込金の返金はいたしません。  
(ナンバーベルトは、受付時にお渡しします。)

### 10、緊急時の対応

- 1) 緊急時、救急車が入る場合は、競技中でも一時競技を止め、救急車を優先して通行させます。選手が止まっている時間も競技時間に含まれます。事態をご理解のうえ、ご了承ください。
- 2) 大会開催中、変調をきたした選手を見かけた場合は、すぐにお近くのスタッフにお知らせください。

### 11、メカニックサービス

- 1) バイクのメカニックサービスは、有料です(¥1000+実費)。事前に十分に整備されたバイクでご出場ください。メカニックサービスは、整備不良のバイクを直すところではありません。



## 12、荷物発送

- 1) 荷物、特に自転車は余裕をもって発送してください。天候や荷物の集中などにより、多くの日数がかかる場合があります。
- 2) 佐川急便で、希望者には自転車輸送の受付を予定しております。詳しくは、大会ホームページに発表予定です。

## 13、荷物預託

- 1) スイムスタート前
  - ・手荷物をお預けできますが、貴重品の対応は各自ご判断ください。また、1人1個までとさせていただきます。大型の荷物等がないようご協力ください。レースナンバーで管理します。
  - ・フィニッシュ付近で返却します。レースナンバーをご持参ください。
- 2) スイムフィニッシュ
  - ・受付時にお渡ししたバッグ内のビニール袋に、バイク・ランで不要な荷物すべてをその袋に入れてください。袋に入っている荷物のみ、フィニッシュ付近で荷物を返却します。(レースナンバーをご持参ください。)

## 14、レスチューブ(膨張式緊急浮力体)の受け取り

- 1) レスチューブは、ご注文、もしくはレンタル予約された方は、レスチューブのブースへお立ちよりいただき、説明を受けてから受け取ってください。(説明会: 前日=随時、当日=6:00、6:30)
- 2) 事前注文・予約していなかった場合でも、在庫がある場合に限り、前日・当日の購入、レンタルの申込ができます。
- 3) 現地でのご購入、レンタルのお支払いは現金のみとなります。
- 4) レスチューブ使用のルールについては、「競技規則8、スイム<3>」を参照してください。
- 5) 事前ご注文の方も、現地でお渡します。(欠場の場合は、別途連絡)
- 6) 持ち帰りの場合、レスチューブホームページの「航空機搭乗時の注意」をご確認ください。  
<http://restube.jp/>

## 15、パラトライアスリート等の参加

- 障がいをお持ちの方が複数出場されます。違う機材を使ったり、走行路線が違うこともあります。また、パラトライアスロンのルールを適用します。同じアスリートとして、ご協力をお願いします。
- 1) スイムキャップは、〇〇色となります。(決まり次第発表します)
  - 2) スイムフィニッシュで、アシスタントが入る選手がいます。
  - 3) 視覚障がい選手が、タンデムバイク(2人乗り)で出場します。通常のバイクと違う動きがあるので十分ご注意ください。
  - 4) ランで、ホイールチェア(車椅子)を使う選手がいます。お互いに声をかけるなど、ご注意ください。

## 16、抽選会 (調整中)

## 17、その他

- 1) **「夏」の気候として準備をしてください。前日から十分な水分補給をしてください。飲酒は水分補給どころか脱水につながります。前日の飲酒はお控えください。**
- 2) 雨、風など、天候によっては寒い場合も考えられます。寒さ、雨対策も考慮してご参加ください。  
※1),2)については、応援の方もご注意ください。
- 3) ラン競技中の帽子の着用を推奨します。
- 4) 大会開催中、変調をきたした選手を見かけた場合は、すぐにお近くのスタッフに声をかけてください。
- 5) **体調不良、睡眠不足などは、大きな事故につながります。絶対に無理な出場はしないでください。**
- 6) スケジュール、ローカルルールの変更などがあった場合は、本部に掲示の上アナウンスします。
- 7) **ゴミは各自お持ち帰りください。**
- 8) 貴重品は各自で管理をお願いします。
- 9) スイム会場、フィニッシュエリア付近には仮設テントの更衣室を用意します。
- 10) 本大会では、参加者及びスタッフは傷害及び疾病の保険に加入しています。  
(特定疾病の範囲=急性心疾患・急性脳疾患・熱中症・低体温症など。ただし疾病保険加入の場合、約款上往復途上は保険対象外となりますのでご了承ください。)  
ただし、前日試泳では、傷害のみの保険となります。  
より万全にするためには、別途個人で保険にご加入なさることをお勧めします。
- 11) 計測タグは回収所または本部まで必ずご返却ください。紛失した場合、実費を請求させていただきます。
- 12) テレビ、新聞等の取材が入り、場所を確保する場合があります。ご協力をお願いします。